

中央環境審議会自然環境部会(第37回)

国立公園満喫プロジェクト説明資料

- ① 2019年度からの新たな取組について
- ② 最近の取組状況について

国立公園の保護と利用の好循環により、優れた自然を守り地域活性化を図る

- ◆ インバウンド対策を通じて、国立公園の魅力を再発見・再構築
- ◆ 外国人のみならず日本人も国立公園の魅力を満喫できるようにする
- ◆ 地域に経済効果をもたらし、一層の自然環境の保全に再投資される



国立公園を核とした
地域循環共生圏の実現



国立公園の優れた
自然環境

最大の魅力は
自然そのもの

保護

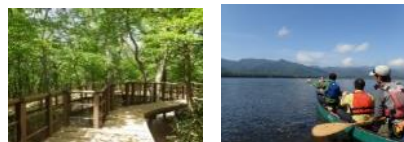
利用

地域資源として
自然の価値向上

地域の産業の活性化
地域の持続的な発展

国立公園の磨き上げ

- ・引き算の景観改善
- ・ビジターセンター等の再整備
- ・公共施設の民間開放
- ・体験プログラムの充実
- ・利用者負担による保全のしくみづくり



国内外へのプロモーション

- ・公式パートナー企業との連携
- ・SNSや海外メディアの活用
- ・旅行博・商談会の参加
- ・旅行会社等との情報交換会の開催



H31年度からの新たな取組

国際観光旅客税の活用による取組の強化

- ・利用拠点の滞在環境の上質化
- ・多言語解説の充実
- ・野生動物観光のコンテンツづくり
- ・新たなプロモーションの展開

国立公園満喫プロジェクトの 2019年度からの新たな取組について

利用拠点の滞在環境の上質化

- 国立公園の利用拠点において滞在環境の刷新を推進
 - 民間商業施設等の導入を前提とした廃屋撤去
 - 文化資産への興味を喚起するまちなみ改善
 - インバウンド対応等による利用拠点エリアの刷新



撤去中の廃屋



廃屋撤去跡地に新たな民間事業を導入（大山隠岐国立公園）



アイヌ文化の魅力を感じられる利用拠点のまちなみ（阿寒摩周国立公園）

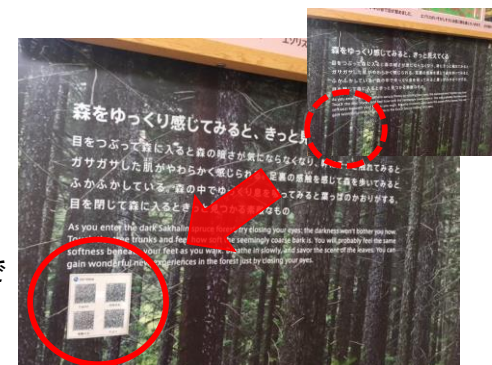


国立公園における多言語解説の整備・充実

- ICT等を活用し、国立公園の見どころや野生動植物などを、外国人に魅力ある文章※で伝える多言語解説を充実

※日本に造詣の深い外国人有識者による監修

携帯でコードを読み取ると多言語で解説を読み上げるUni-voiceを使用（Wi-Fi環境が不要）



野生動物観光のコンテンツづくり推進

- 全国各地で保護施設の観光客への公開を含むインバウンド野生動物ツアー（ナイトツアーを含む）を造成



阿寒湖のマリモ



道東のオオワシ（羅臼／根室）



釧路湿原野生生物保護センター
（傷ついたシマフクロウを保護）

現状



オランウータン保護施設（マレーシア）の事例

<http://www.u-tour.jp/wp/kuching/semenggoh-wildlifecenter/>

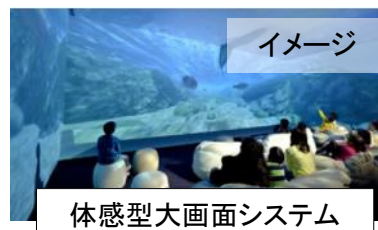
ビジターセンターのインバウンド対応機能強化とVR等を活用した展示の充実

- 予約機能を備えたツアーデスクにおいて、自然を満喫できるアクティビティ等の情報を一元的に多言語で提供
- 最新デジタル技術を活用し国立公園の理解を深めることにより、国立公園深部の利用を促進



イメージ

←アメリカの国立公園の
ビジターセンター
多くの利用者が、ビジターセ
ンターで、国立公園の過ごし
方を決める



イメージ

体感型大画面システム

出典)東京都水の科学館
パナソニック(株)HPより

予約まで一気通貫可能な国立公園一括情報サイト構築

- JNTOグローバルサイト（約27%が訪日時の情報源として使用）内に、全国の国立公園のモデルルートや体験アクティビティを掲載



（一括情報サイトのイメージ）
利便性の高いニュージーランド政府観光局ウェブサイト



阿蘇カルデラでのスピリチュアル体験 阿蘇天空のヨルグ（季節限定）
くじゅうトレッキング グルッと三俣山（Mimata Circuit Trekking）

体験アクティビティ例
（阿蘇くじゅう国立公園）

新宿御苑における国立公園の情報発信強化

- 年間250万人の来苑者の約半数が外国人である新宿御苑を、VR等を用いた全国の国立公園の情報発信拠点に刷新



インフォメーションセンター前へのデジタルサイネージの設置



日本地図の模型へタブレット等をかざすことで、各公園の特徴や絶景を表示

- 御苑全体を活用して自然観察体験アクティビティを提供し、本格的な体験ができる国立公園を案内



観察のイメージ写真
（コケの観察）

国立公園満喫プロジェクトの 最近の取組状況について

伊勢志摩国立公園におけるにぎわいの創出

公共施設の民間開放

多言語解説の充実

基盤整備

里山里海の風景を眺めるゆとりとくつろぎの環境整備

○人々の営みと自然が織りなす優れた里山里海の景観を眺めながら、ゆっくりと快適な時間を過ごすことができる環境の整備を進めている。

before



(これまでの成果)

- 英虞湾を一望する横山展望台を再整備し、「横山天空カフェテラス」として8月にグランドオープン。(株)志摩地中海村が国立公園事業としてカフェサービスを提供。
- リアス海岸の絶景を望む展望台を11月に再整備(※三重県・鵜倉園地)

<今後の予定>

- ・横山園地や近畿自然歩道の標識類の多言語化、鵜倉園地の公衆トイレを洋式化し、受入環境を向上
- ・展望デッキ新設により休憩機能を強化(※三重県・登茂山園地)

after



トリップアドバイザー 日本



第1位 横山展望台(志摩市の観光スポット74件中)
Certificate of Excellence (エクセレンス認証) 獲得



- ・テレビ、ラジオ、新聞、大手旅行雑誌等多数のメディアで紹介
- ・展望台・カフェが連日盛況(8月の販売点数14,000個)

日光国立公園におけるプレミアムリゾートの創出

上質な宿泊施設

コンテンツの磨き上げ

基盤整備

中禅寺湖畔の国際避暑地としての歴史を体感できる環境づくり

○2020年のラグジュアリーホテルの進出を見据え、富裕層を含む幅広い層を受け入れる環境整備や旧大使館別荘の活用を進めている。

➤ 日光自然博物館の案内機能等の強化

(JNTOカテゴリ-2英語対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供。)

➤ イタリア・英国大使館別荘記念公園を活用したイベントを実施（栃木県主催）

➤ レンタサイクルシステムの導入により、利用者の周遊性が向上



奥日光
インフォメーションセンター



英国大使館別荘記念公園



<今後の予定>

- ・英国大使館別荘記念公園やイタリア大使館をつなぐ航路と棧橋の新設を予定（民間）
→湖上クルーズで直接アクセスできるリゾート感やアクティビティ性を演出
→駐車場からの移動（徒歩15分）や公共交通利用者の利便性が向上

今回変更



オフィシャルパートナー等との連携

民間事業者等との連携

プロモーション

- 国立公園の魅力の世界に発信する国立公園オフィシャルパートナーシップを49社と締結。締結企業による取組を継続して実施。
- 6月に新規締結した18社は、ランドオペレーター、地方銀行等の新たな分野に拡大するとともに、メディアなどの分野を充実

※取組例：

- ・地方銀行による地域のアクティビティ事業者のキャッシュレス化支援（**肥後銀行@阿蘇くじゅう**）
- ・国立公園と連携したスタンプラリーイベントの実施（**山と溪谷社@大山隠岐**）
- ・鉄道・旅行会社と宿泊施設が連携した国立公園誘客プロモーション、商品造成（**休暇村協会、JR東日本、JTB**）
- ・**ANA**訪日外国人向け旅行プランニングサイトにて国立公園特集を配信ほか、各社オウンドメディアにおける発信
- ・国立公園をテーマにした旅行商品の造成の継続（**日本旅行**）

- **東武鉄道**の協力により、「ミシュラン・グリーンガイド日光国立公園WEB版」（英・仏）が12月12日に公開、新規24カ所が掲載【**日光国立公園**】
 - （★★★）日光、日光東照宮
 - （★★）日光国立公園^{new}、戦場ヶ原のハイキング^{new}、イタリア大使館別荘記念公園^{new}
 - （★）中禅寺湖クルーズ^{new}など
- **モンベル**がトレッキング、サイクリング等により自然を楽しむおすすめルート「ジャパンエコトラック」を設定。12月1日・2日に「ジャパンエコトラックライドイン阿蘇」を開催。約300名が参加【**阿蘇くじゅう国立公園**】

<今後の予定>

- ・JTBによる国内キャンペーン『日本の旬』2019年度上期の対象を国立公園として全社に展開予定
- ・次回の国立公園オフィシャルパートナーシップ締結式は2019年1月21日

（出典）モンベルHPより



（出典）ミシュランHPより

最近の様々な取組状況について

○公共施設の民間開放

日光国立公園

- ・ 那須平成の森フィールドセンターにおいて、2017年にカフェスペースを整備し、カフェ事業者が出店。2018年度は、11月末までに計64回飲食を提供。

<今後の予定>

- ・ 2019年度から本格出店し、これまで月10回程度だったものを倍増予定。



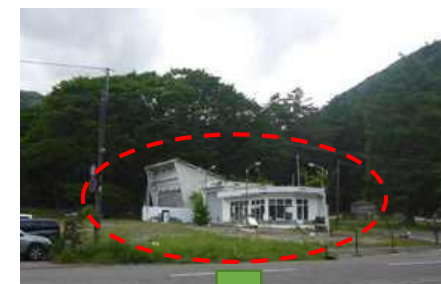
○引き算の景観改善

日光国立公園

- ・ 湯元温泉エリアにある環境省所管地（湯元集団施設地区）について、湯元温泉のにぎわいとくつろぎのある利用拠点として、温泉と湖を満喫できる空間として再整備を予定。
- ・ 再整備に向け、景観を害している所管地内の廃屋2件のうち1件について、法的な手続きを経て、11月21日に建物撤去を完了した。

<今後の予定>

- ・ 集団施設地区全体の再整備について、官民連携での実施に向け検討中。
- ・ もう1件の廃屋について、法務局と法的な手続きを調整中。



最近の様々な取組状況について

○二次交通の改善

霧島錦江湾国立公園

- ・課題となっている二次交通の改善に向け、観光庁予算を用いて、鹿児島空港～えびの高原～道の駅えびのを結ぶルートでバスの運行実証を実施（2018/10/27～12/9）。
- ・20日間運行し、延べ約300名の外国人（16カ国）が利用。（主体は九州運輸局。そのほか、環境省・鹿児島県・宮崎県・霧島市・えびの市・地域の交通事業者等が参画連携。）



<今後の予定>

- ・実証結果を踏まえ、地域協議会等で次年度以降の取組検討を進める。

○利用者負担の仕組みづくり

妙高戸隠連山国立公園

- ・妙高山・火打山において、入域料にかかる実証実験を実施（10/1～10/21）。協力者数2,963人、合計約146万円、協力率75.1%という結果となった。

<今後の予定>

- ・結果を踏まえて、入域料の額や収受方法など、当エリアにおける入域料等の導入に関する具体的な検討を進める。



最近の様々な取組状況について

○プロモーションの強化

◆ ラグビーWCに向けた豪NZへのプロモーション

- ・ 2019年開催のラグビーWC観客を狙い、伝説のラグーマン出演による阿蘇くじゅう紹介番組を製作。2019年1月に豪NZにおいて放送予定。【民間:大分朝日放送】

阿蘇くじゅう国立公園



<今後の予定>

- ・ 放送に併せて国立公園CM放送※環境省事業や豪NZの日本食レストランやスポーツバー、旅行代理店におけるプロモーションを予定

◆ 動画を用いたデジタルマーケティング

- ・ 国立公園YouTubeチャンネルに45秒と1分半の大山隠岐国立公園動画を掲載し、国外に向けて動画広告を実施。
- ・ 動画視聴者に向けアクティビティの予約ページ等へ誘導
- ・ 12/1の配信後、12/10までにYouTubeで96万回再生、Facebookで5万回再生され、合計で100万回を超える視聴数。(Google社の協力により実施)

大山隠岐国立公園



<今後の予定>

- ・ 結果を分析して国別・広報手段別の効果検証を行う予定

最近の様々な取組状況について

○公園計画の変更等

国立公園内への上質な宿泊施設や利用施設の整備に向け、基礎となる公園計画を変更するとともに、事業施設の規模を設定。

(12/28中央環境審議会自然環境部会自然公園等小委員会)

(例)

- ・ 中禅寺湖南岸エリアの活性化を推進するため、中禅寺湖における船舶運送施設事業の航路変更、船舶運送施設の変更（新栈橋の設置）【日光国立公園】
- ・ 瀬戸内海を望む尾道市の半島に、高付加価値な宿泊施設を整備するための規模を決定【瀬戸内海国立公園】
- ・ 天草の玄関口に位置する樋合島に、高価格帯のホテル、グランピングエリアなどを整備するための、宿泊施設の規模の決定【雲仙天草国立公園】